令和４年度 一般財団法人松阪スポーツ振興研修センター事業報告書

（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）

当財団はスポーツ活動の振興及び市民の健康増進、並びに市民活動の交流増進に関する事業を実施し市民の心身の健全な発達と地域社会の健全な発展に寄与してまいりました。また、松阪市が主催する競輪開催時における選手宿泊事業の受託を行ない、公益の増進に寄与することを目的とし自主的な法人運営に努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数について、全国的に減少傾向が継続しており、今後も減少傾向が続くことが見込まれております。当施設としては感染防止対策を引き続き徹底し、利用者の運動不足の解消と健康の保持増進に向けた取組みを後押しすべく安心安全且つ魅力ある施設の維持・管理に努めてまいりました。

事業実績

１．施設の管理・運営事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け様々な対策を実施しました。感染防止対策に積極的に取組むことで利用者に「安心」「安全」というイメージを持っていただけるよう取り組んでまいりました。

管理運営においては効率的、効果的な管理運営と機能の最大限の発揮を心がけ、全体的に施設、設備の老朽化が進み維持管理費が増大している中にあって、利用者の安全面や施設の予防保全の点から必要となる修繕を積極的に行ない、適正な維持管理を行いました。

２．スポーツの振興、市民の健康増進及び市民活動の交流に係る事業

・一般宿泊利用・研修室及び会議室利用・トレーニングルーム利用

新型コロナウイルス感染症がようやく終息の動きを見せる中、利用者が少しずつではありますが戻りつつあります。そのような中でも引き続き感染防止対策として利用者に入館時にてアルコールによる手指消毒及び検温のご協力をお願いするとともにトレーニングルーム内の窓の開放・機器消毒を徹底しました。

	利用収入	前年度比
一般宿泊利用	２，１５８，７５０円	約１３％増
研修室及び会議室利用	１４０，８００円	約８５％増
トレーニングルーム利用	９７１，３００円	約５２％増

施設別利用状況は、別紙１「月別施設利用状況表」のとおりです。

３．松阪競輪参加選手の宿泊に係る受託事業

松阪競輪開催時における競輪選手の宿泊は６７日間（２２開催）延べ５，００２人でした。